

授業科目名 <英訳>	フランス語学フランス文学(講読) French Language and Literature (Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 森本 淳生					
配当 学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	木2	授業 形態	講読	使用 言語	日本語
題目	マルグリット・デュラス『ヒロシマ・モナムール』を読む										
【授業の概要・目的】											
マルグリット・デュラス『ヒロシマ・モナムール』（1959）を精読します。この作品はデュラスの代表作のひとつで、アラン・レネ監督の映画（邦題『二十四時間の情事』）のシナリオとして執筆されました。授業では随時映画を見てイメージをつかみながら、デュラスのテキスト（シノプシスおよびシナリオ）を読解し、文学テキストの読解に習熟することを目指します。											
【到達目標】											
フランス語の文法・語法・語彙について知識を深める。 デュラスの独特のリズムをもつ凝縮された文体を読むことを通じて、文学テキストの読解に習熟する。											
【授業計画と内容】											
第1回 インTRODクシヨン：『ヒロシマ・モナムール』とデュラスの文学 第2-14回 随時映画を見ながら『ヒロシマ・モナムール』を精読 第15回 まとめ											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
授業の訳読への参加（50点）、期末試験（50点）。											
【教科書】											
Marguerite Duras, Hiroshima mon amour [1959], in Oeuvres complètes, édition publiée sous la direction de Gilles Philippe, t.II, Gallimard, Bibliothèque de la Pléiade, 2011, p.1-104.											
【参考書等】											
（参考書）											
【授業外学習（予習・復習）等】											
予習をしないことは語学習得の最重要の部分のみずから放棄することを意味しますので、必ず予習をしてください。自分で辞書を引いて読んでみて、分かるところと分からないところを腑分けし、授業では分かったと思ったことを確認しつつ、分からなかったところを学ぶようにすることが大切です。											
【その他（オフィスアワー等）】											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											